

 JAグループ福島による営農再開支援の取組み

(1)市町村別営農再開プラン等の策定支援  
○被災地域の市町村が策定する営農再開プランの策定を支援【被災地全市町村】

(2)営農再開に向けた農地マッチング(特定農作業受委託契約の仲介)  
○水田再開に向けた農地所有者の再開意思確認と営農意欲のある生産者間で特定農作業受委託契約の締結推進【楢葉町・富岡町・浪江町】

(3)農業関連施設の設置促進・運営受託  
○農業倉庫・CE・園芸圃地など復興加速化事業による農業関連施設の設置支援と運営受託  
【設置済】川内村、葛尾村、楢葉町【計画中】富岡町、浪江町、飯館村、南相馬市、相馬市ほか

(4)農業法人誘致など担い手確保  
○担い手の高齢化により営農再開が困難な地域で農業法人の誘致などにより再開後押し  
【楢葉町・浪江町】

(5)営農再開までの所得確保対策【被災地全市町村】  
○営農再開ができない地域での休業賠償の継続や再開地域での風評賠償による所得確保支援

○東日本大震災・原発事故からの復興（農業産出額等の推移）

MAFF

参考

【福島県】

	単位	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
農業産出額	億円	2,330	1,851	2,021	2,049	1,837	1,973	2,077	2,071	2,113
水稻(作付面積) 子実用	ha	80,600	64,400	68,200	68,200	68,200	69,600	64,200	64,000	64,000
大豆(作付面積) 乾燥子実	ha	2,830	2,100	1,930	1,840	1,710	1,720	1,960	1,500	1,570
4葉計(作付面積) 乾燥子実	ha	482	466	270	263	260	X	X	X	354
野菜(作付面積)	ha	6,986	5,938	5,833	5,750	5,669	5,569	5,302	5,300	5,230
乳用牛(頭数)頭数	頭	17,600	17,100	14,800	14,300	13,600	12,800	12,400	12,100	12,000
肉用牛(頭数)頭数	頭	78,200	74,200	58,100	56,600	54,700	52,600	51,800	50,200	48,600
生乳生産量	t	101,407	75,254	82,370	61,845	76,685	73,925	74,873	73,704	70,476
絶滅家畜	戸	96,088					75,308			
農業法人登録者	法人	270	270	287	284	313	338	350	384	429

資料：福島県「2013年版計画「農林水産業振興計画」「被災農業生産統計調査」」農業統計調査。絶滅家畜は2010-2015年版をセグサス農業生産統計より。被災は北東北震災農業生産被災状況調査。

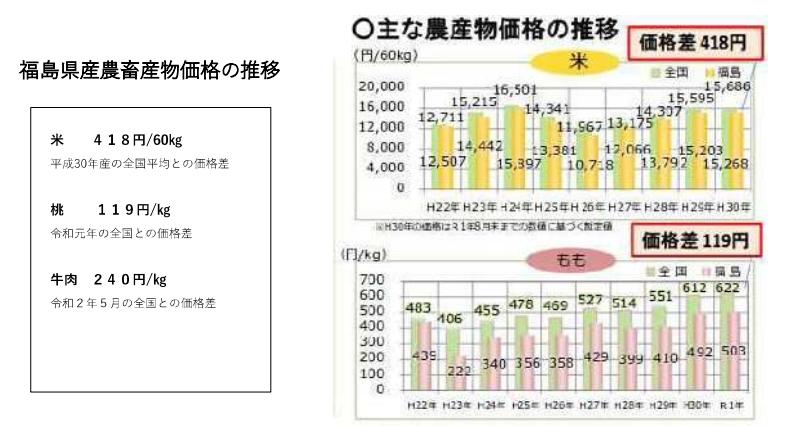
注：「米穀、小麦、大麦」は「大米・小麦・大麦(六大陸大麥)」及び「ひよこ」を含むことを記す。

野菜には「被災野菜の作付面積」「(アヒルノ、(ヒヨコ)、(トマト)、(カベツ)、(ズucchini)、(レタス)、(ねぎ)、(トマト)、(ピーマン)」の記載がある。平成29年は、主に被災地の野菜で、被災地の野菜は被災地の作付面積を示してある。

-54-

「米の全袋検査」から  
「米のモニタリング検査」移行への対応

項目	検討内容
基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング検査スキーム構築</li> <li>・基準値超過を出さないための取り組み徹底</li> <li>・風評被害対策</li> </ul>
モニタリング検査の内容検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査単位及び密度（旧町村）</li> <li>・検査の実施時期</li> <li>出荷・販売開始前 CE等大型乾燥調製施設の取り扱い</li> <li>・避難指示のあった区域等の取り扱い 当面全量全袋検査の継続</li> </ul>
基準値超過を出さない取り組みの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産段階での放射性物質対策</li> </ul>
自主検査の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査機器の活用</li> <li>・野菜・果樹等その他農産物との関係</li> </ul>



**JAL JAグループ福島による台風19号災害の復旧・営農再開支援**

(1)被害状況把握と復旧支援策の検討  
 ○被災直後からJA・県連の常勤役員により被災状況調査  
 ○復旧・営農再開に必要な支援策検討(関係役職員会議)

(2)政府・与党など関係機関に対する積極的な要請活動の展開  
 ○政府関係者に対する要請(農水大臣・副大臣・政務官ほか)  
 ○国会議員に対する要請(与野党県選出国会議員・農政連推薦議員)  
 ○福島県知事に対する要請  
 ○市町村長に対する要請

(3)被災農家に対する復旧・営農再開支援  
 ○JA職員による瓦礫等の撤去作業支援  
 ○復旧・営農再開支援事業の申請相談など事務的支援

(4)財政支援  
 ○国・県・市町村の財政支援にJA独自財源での上乗せ  
 ○全農による独自財政支援




**JAグループ福島による新型コロナウィルス感染対策支援**

(1)感染拡大防止対策の検討・徹底  
○感染防止のための生産者に対する情報提供  
○JA施設等での感染防止対策の徹底

(2)関係機関に対する積極的な要請活動の展開  
○国会議員に対する要請(与党県選出国会議員)  
○福島県知事に対する要請

(3)需要減少品目の消費拡大対策  
○福島牛消費拡大対策  
・役職員による率先利用  
・「消費拡大キャンペーン」の展開(県内26か所の農産物直売所)(期間:2020年 6/12~8/1)  
・福島牛 #プロジェクトF クラウドファンディング支援(期間:2020年 7/1~9/29)  
○花卉消費拡大対策  
・JA、連合会施設での花いっぱい運動  
・母の日、父の日の花卉利用呼びかけ

(4)所得確保支援対策  
○緊急経済対策(補助金)申請支援(持続化給付金・経営継続補助金ほか)

The image displays two side-by-side promotional banners for Fukushima Beef. The left banner is for a campaign titled '#プロジェクトF' (Project F), featuring a large stylized '牛' (cow) icon and several images of raw and cooked beef cuts. The right banner is for a 'Gift Giveaway' campaign, featuring a large image of a heart-shaped beef cut and various beef dishes like sukiyaki and beef bowls. Both banners include Japanese text and small QR codes.